

会 議 録

会議の名称	令和元年度第2回茨木市指定管理者候補者選定委員会
開催日時	令和元年7月8日(月) 午前 午後) 10時00分 開会 午前 午後) 12時00分 閉会
開催場所	南館3階防災会議室
委員長	河井豊(副市長)
出席者	<p>【委員】 河井委員長(副市長)、井上委員(副市長) 坂西委員(学識経験者)、富山委員(学識経験者) 山下委員(学識経験者)、森岡委員(総務部長) 秋元委員(企画財政部長)、上田委員(市民文化部長) 中田委員(建設部長)、</p> <p>【説明員】 小西市民協働推進課長、富崎市民協働推進課参事 辻田文化振興課長、田中文化振興課主幹 小西スポーツ推進課長、梶スポーツ推進課長代理 西野建設管理課長、野村建設管理課係長</p>
欠席者	無し
事務局職員	岩崎政策企画課長、梅鉢政策企画課係長、武井
開催形態	非公開
議題(案件)	(1) 平成30年度指定管理者制度導入施設の評価結果について (市民協働推進課所管施設、文化振興課所管施設、スポーツ推進課所管施設、建設管理課所管施設) (2) 体育館及びプールの指定管理者候補者の選定方法の決定について (3) 駐車場の指定管理者候補者の選定方法の決定について
配布資料	(1) 平成30年度実績 評価結果(案) (2) 体育館及びプール指定管理者候補者申請関係資料 (3) 駐車場指定管理者候補者申請関係資料

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
河井委員長	<p>ただ今から、令和元年度 第2回 茨木市指定管理者候補者選定委員会を開催する。</p> <p>まず、出席委員の状況であるが、事務局に願います。</p>
事務局	<p>それでは出席状況については、各施設所管部長の委員を除き、委員総数7人の内、出席の委員は7人である。</p> <p>委員会規則第6条第3項により、委員の半数以上が出席しているため会議は成立している。</p>
河井委員長	<p>本日の案件は、「指定管理者制度導入施設における平成30年度の評価結果について」、「指定管理者制度導入施設の選定方法の決定について」の2件となっている。</p> <p>市民体育館、各プールおよび駐車場の選定方法等については、当該施設の昨年度の評価結果の報告の後に説明をする。</p> <p>各コミュニティセンターについて</p> <p>それでは本日の案件である、「指定管理者制度導入施設における平成30年度の評価結果について」の審議に入る。市民協働推進課の所管施設である「各コミュニティセンター」の評価結果について、説明をお願いします。</p>
市民協働 推進課	<p><評価結果について説明></p>
秋元委員	<p>郡コミュニティセンターでは、施設の管理運営状況の中で、基本的な守るべき部分である11の警備体制の鍵の受け渡しの記録や、13の緊急時の対応でB評価になっている。ここでB評価が二つあるが、全体評価はA評価となっているが、その評価は正しいのか。また、指導状況はどうか。</p>
市民協働 推進課	<p>コミュニティセンターは基本的には夜間最終利用者が施錠して帰るという状況であるため、可能なところから順番に鍵の受け渡し要員、施錠確認等の配置を進めているが、まだできていないセンターについては、最後に誰が鍵を閉めて帰ったのかというところまでは記録しておく必要があるため、その点は徹底をしたい。</p> <p>指導状況は、基本的には全コミュニティセンターにスポット配置として、午前、午後、夜間をお願いをしており、できるところから随時対応してもらい取り組みをしている。市としても、市民サービスの向上につながるため、そこは積極的に配置していただくようお願いをしている。それからシルバ一人材センターに配置をお願いしたいという要請を受けているので、そこと</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	連携をしながら、配置を適切にしていきたい。
富山委員	稼働率の算出について、説明をお願いします。
市民協働 推進課	午前、午後、夜間で1日3コマ掛ける開館日数を母数として、実際に利用があったコマを分子として算出している。
富山委員	コミュニティセンターの指定管理者は、他施設とは違い、自治会の中で委員を出して、その地域に在住の方が主体性を持って運営されているという実態である。そのような指定管理者に対して、B評価をA評価に変えるためには、どのように指導しているのか。
市民協働 推進課	各コミュニティセンターにはモニタリングを実施する際に、訪問して説明をしている。その中で、お互いに意思疎通をしながら、そこで指導をしていくという形である。また、必要に応じてセンター長会議をやっているが、そこで各コミュニティセンターの評価結果を共有することはできていないため、今後、そこも踏まえて対応できればと思っている。
富山委員	あまり厳しいことを言って、指定管理者のやる気がなくなることを考えると難しいところだが、引き続きよろしくをお願いします。
河井委員長	彩都西コミュニティセンターの「利用者ニーズの把握と対応」で、指定管理者がA評価であり、市がC評価としている。この事情の説明をお願いします。
市民協働 推進課	彩都西コミュニティセンターについては、利用者から、直接市に苦情や対応についての意見をいただいている。実際に市職員が現地へ行き、対応しており、その際、指定管理者に対しても指導している。指定管理者は、利用者にルールを守っていただくために、少し強い口調で指導をするという部分があったため、利用者はアンケートを直接指定管理者へ出せず、市に提出している場合がある。そのようなところからA評価とC評価に分かれていると認識している。
河井委員長	それに対して、施設所管課はどう考えているか。
市民協働 推進課	管理委員長と副委員長と話をし、利用者の利便性の向上と地域の方の運営を応援したいという旨を伝えた上で、管理・運営に努めるよう指導した。その後、直接利用者からのご意見などはない。もし、今後改善されないようであれば、文書により、強く指導していきたいと考えている。
河井委員長	その後、直接利用者からのご意見などはないというのはどういうことか。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	例えば利用者として苦情を言った方が諦めてしまっているのか、納得いただいたのか。それによってかなり判断が変わってくる。
市民協働 推進課	その利用者の方にも直接お会いし、何かあれば市民協働推進課のほうに連絡がほしいということを伝えている。今のところは連絡がないため、問題なく運営ができています。
井上委員	ここのA評価からC評価になった理由は、アンケートの回収状況がよくないという話であったが、実際はそうではなく、対応が悪かったからということか。
市民協働 推進課	アンケートの回収数も実際に少ない。利用者へ渡しているが、そこも工夫が必要だと思っている。
井上委員	意見・要望の対応については、平成30年度の評価の期間ではないということか。それとも令和元年度に入ってから対応があるから、平成30年度としては、その後の対応についての評価ができないので、C評価としているということか。
市民協働 推進課	対応についてC評価ということではなく、あくまでも利用者ニーズの把握というところでの意見聴取の方法が、他コミュニティセンターと比べるとできていないため、その点で評価をしている。そのため、対応の部分については一定加味している。
井上委員	山手台コミュニティセンターについても回収数が少なく、18件となっており、彩都西コミュニティセンターの6件と比べると、どちらも低いですが、山手台コミュニティセンターについてはA評価でいいのか。
市民協働 推進課	山手台コミュニティセンターはエレベーターの工事があり、閉館している期間があったため、その点を考えた上でA評価にしている。
井上委員	「利用者ニーズの把握」について、回収数か対応か、どちらに重きを置いているのか。バランスがとれていればいいと思う。
市民協働 推進課	承知した。
河井委員長	収支状況の表の見方について、支出の項目で、地域活動費の下に、かっこ書きで[うち地域還元金]と書かれている。実績では地域活動費がゼロで[うち地域還元金]に数字が入っているのは、どういうことか。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
市民協働 推進課	地域活動費の中に、コミュニティセンター祭り等の事業に要した経費と、地域還元金という形で、地域の各団体を支援する分がある。どちらも含めて、地域活動費という形で挙げている。これまで、地域活動は、自主事業という位置付けをしていた。平成30年度からは、指定管理事業とし、指定管理料の中で実施しているため、平成29年度までと書きぶりが変わっている。平成30年度からは、指定管理料の改正と合わせて、事業の提案を聞きながら地域活動費を上限200万円までという形でしており、そのうち地域還元金は上限30万円としている。
河井委員長	平成29年度までは、地域還元金は収支の外にあり、30年度は、地域活動費の内数として、ここに記載しているということか。
市民協働 推進課	そうである
河井委員長	記載内容を整理し、平成27年度から平成29年度までを改めること。
市民協働 推進課	承知した。
坂西委員	彩都西コミュニティセンターでは、平成29年度のアンケートの配布数が100枚、回収数が86枚で、それに対し、平成30年度の配布数が100枚、回収数が6枚となっており、回収率が大きく下がっているが、その理由は何か。これだけ回収率が違っていたら、回収方法も変わっていると思う。
市民協働 推進課	これまでは配布していたが、平成30年度については、配布ではなく、アンケート用紙を設置し、持って帰ってもらう方法であったため、書いた方はほとんどいなかったという状況であると認識している。
坂西委員	多くの方に答えてもらう方が、信頼度があると思うので、その辺りもセンターに方法改善ということで提案していただきたい。
市民協働 推進課	承知した。
山下委員	収支状況について、評価の基準は、定量的な基準があるのか。同じような収支状況であるが、一方ではA評価、一方ではB評価がついており、差が出ている。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
市民協働 推進課	コミュニティセンターにおいては、必要経費を支払った後に、余剰金が生じることをインセンティブと考えている。その余剰金を使って、新たな活動をしていただきたいと考えている。収支で見ても、赤になっているところはないということでA評価としている。
山下委員	単年度で繰越金が出れば、A評価ということか。
市民協働 推進課	単純にそういうことではない。単年度でマイナスになったコミュニティセンターも、西河原コミュニティセンターと穂積コミュニティセンターの2カ所ある。ここは積極的に施設の改修に繰越金を使って実施していただいたことを踏まえ、それぞれA評価としている。
山下委員	コミュニティセンターにおいては、A、B、C評価の基準は定量的にしているわけではなく、繰越金が出ているかどうかという判断があり、その中身において繰越金の内容を、都度確認した上での総合評価をされているという認識でよいか。
市民協働 推進課	原則は収支で見ているので、赤字が出ていないことが基本になるが、赤字が出た2カ所については、そのような事情があるため、特別にA評価とした。
河井委員長	<u>市民活動センターについて</u> 続いて、「市民活動センター」の評価結果について、説明をお願いします。
市民協働 推進課	<評価結果について説明>
山下委員	収支状況でB評価をつけているのは、2年間繰越金を積極的に使わず、貯めたからか。人件費は予算どおり、ほぼ執行しているが。事業実施経費のところは70万円程度で押さえており、予算を使わなかったからB評価としているとも考えられるが、ほぼ予算どおり執行しているため、A評価という考えはないか。
市民協働 推進課	平成29年度末に、平成30年度の予算を指定管理者と協議している。その中で、指定管理料については、人件費や事業費を上げてほしいという話があったが、その意向にそぐわない指定管理料に決定した。この決定した金額であれば、人件費も事業費も少し抑えなければならなくなり、抑制に努めた結果、少し繰越金が多くなったところの評価を踏まえての判定となる。

議 事 の 経 過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
井上委員	<p>そもそも予算を決めるときに、つめていなかったことが原因であると感じる。それは、指定管理者の責任なのか。ここで出た繰越金は、このまま予算として支出に積んでいるが、繰越金はこのような形で積む必要があるのか。予算額どおりという視点もあるが、支出を努力して抑えたのであれば、それは評価に値するべきである。このように考えるため、B評価にはいかがなものか。</p>
河井委員長	<p>折衝どおり相手方がやってくれなかったということだが、この収支の状況では、繰越金を出しているからB評価だと見える。今、口頭で言った内容をここに書くのは難しい。一方、圧縮した結果、繰越金を生じたということで、A評価ではないのかと一般の人は思う。気持ちは分かるが、それは折衝段階の内容になり、非常に無理がある。</p>
井上委員	<p>A評価が正しいというわけではないが、一般の人が感じる評価と理由になっていない。やるべき事業をやっていなかったからという理由であれば分かるが、予算をつけていたにもかかわらず、やるべき事業ができなかったということであれば、それは評価が落ちてもいいのだが、そうではない話だった。</p>
河井委員長	<p>事業に着目するのであれば、収支のところで評価するのではなく、運営状況であったり自主事業の部分であったり、そのようなところで評価するべきである。</p>
市民協働 推進課	<p>再度、検討する。</p>
井上委員	<p>全体評価の自主事業の評価で、指定管理者がS評価、市がA評価になっている。ここで、指定管理者がS評価としている理由はなぜか。指定管理者がS評価をするのであれば、自主事業等で、何かプラスなことを書くのではないか。ここでは書かれていないので、もし書けるのであれば書いてもらいたい。</p>
河井委員長	<p>委託内容を大きく上回る事業を実施しているが、事業費を落としているところに矛盾がある。指定管理者が書く欄なので、指定管理者がこうだと言いつけるのであれば、それは仕方がないが、精査を求める。</p>
市民協働 推進課	<p>承知した。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
河井委員長	<p><u>福祉文化会館及び市民総合センターについて</u> 続いて、「福祉文化会館及び市民総合センター」の評価結果について、説明をお願いします。</p>
文化振興課	<p><評価結果について説明></p>
井上委員	<p>福祉文化会館と市民総合センターの指定管理事業・実施事業等の評価について、所見では同じような評価であるが、一方がA評価でもう一方がS評価なのは、どこで分かれたのか。</p>
文化振興課	<p>それぞれの施設でホールがあり、年度によって自主事業をやる内容が異なってくる。評価が異なった点については、例えば、市民総合センターで新たな事業をやったが、次の年は福祉文化会館のほうで新たな事業を行ったなど、施設ごとの自主事業の内容を勘案して評価しているためである。</p>
井上委員	<p>取り組みの濃度が違ったということか。</p>
文化振興課	<p>そのとおりである。</p>
秋元委員	<p>平成30年度で指定管理業務では455万2千円の黒字、自主事業が赤字であり、最後の全体収支はわずかな黒字になっているが、この自主事業は何か。文化芸術活動ということか。</p>
文化振興課	<p>そうである。</p>
秋元委員	<p>平成30年度は黒字だったが、過去は赤字の年がある。令和元年度の予算でも、ここでは赤字になっている。この赤字はどのように回収していたのか。</p>
文化振興課	<p>もちろん、歳入によっても少し変わるが、事業については補助金で対応しており、足りない部分は切り崩して対応している。</p>
河井委員長	<p>福祉文化会館と市民総合センターの総合評価で、それぞれの所見の部分がほとんど変わらない。また、運営状況についての指定管理事業・自主事業等の評価の所見についても、所見がほとんど変わらないが、福祉文化会館の自己評価がA評価で、市民総合センターの自己評価がS評価となっている。これはいかがかと思う。収支状況を分離できないことは、いたし方</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
文化振興課	<p>ない部分もあろうし、他の細かい個別評価の項目のところで同じ表現を使わなければならない部分もあることは理解しているが、もともと財団からしても、この二つの施設の位置付け、性格付けはかなり違うはずである。例えば福祉文化会館の運営状況の評価のところで、著名なアーティストを招聘（しょうへい）するとあるが、招聘したのか。市民総合センターのほうでは割とされていると思うが、その辺りでA評価とS評価をつけるのであれば、所見も変わるはずである。各施設で形成が違うわけであるので、指定管理者のほうでも自己評価を、これだとあまりにも使い回しであるという批判は免れない。</p> <p>事業内容によって、内容を変更する。</p>
河井委員長	<p><u>忍頂寺スポーツ公園について</u></p> <p>続いて、「忍頂寺スポーツ公園」の評価結果について、説明をお願いします。</p>
スポーツ推進課	<p><評価結果について説明></p>
山下委員	<p>明治・一富士グループは民間企業であり、単純にこの収支だけ見ると、ボランティアになってしまっている。何かインセンティブがあるのか。この支出の中で、雇用は生んでいるかもしれないが、それ以外に指定管理者がビジネスとしてやっていける要素はあるか。この収支状況であれば、指定替えの際、民間企業が手を上げてくれないのではないか。その辺りは市ではどのような考えなのか。</p>
スポーツ推進課	<p>指定管理導入当初から現指定管理者に来てもらい、今は北部の開発に合わせて、いろいろ自主事業に取り組む中で、客層を増やしていく努力をしてもらっている。企業努力もあるが、ある程度収益はない中、忍頂寺スポーツ公園を指定管理として行っているというところで、頑張っている状況である。</p>
山下委員	<p>単体ではなく、総合的な関係性の中で、これを位置付けていると考えているということか。</p>
スポーツ推進課	<p>そうである。</p>
富山委員	<p>利用状況について、稼働率は計算しないのか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
スポーツ 推進課	月ごとの宿泊人数や利用者等は、月1回の定例会で報告をしてもらっている。稼働率は計算していないため、指定管理者と調整し、計上を検討する。
富山委員	アンケート調査の方法については、利用者に1枚ずつ渡すのか、どこかに置いてあり、利用者が来たら書いてもらうような状況なのか、どのようなとり方をしているのか。
スポーツ 推進課	利用される宿泊者にアンケートの協力をいただくよう声掛けをして渡している。
富山委員	宿泊の方が減ったので、78枚ということが今年の場合ということか。
スポーツ 推進課	そうである。
富山委員	前年度と比べて、あまり数が違うと、大幅に落ちたように見え、中身もよく分からなくなる。アンケートがたくさん回収できるよう、いろいろな方の調査がとれるようにしたほうが良い。
スポーツ 推進課	承知した。
河井委員長	<p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">市民体育館及び東市民体育館について</p> <p>続いて、「市民体育館及び東市民体育館」の評価結果について、説明をお願いします。</p>
スポーツ 推進課	<評価結果について説明>
富山委員	トレーニング室の稼働率は、どのように計算しているのか。人数は関係ないのか。
スポーツ 推進課	長時間の利用者と短時間の利用者がいるため、人数ではなく、使用時間割る使用可能時間になっている。
事務局	つまり、稼働率が99.8%の場合は、誰も使用していない時間が0.2%分あったということではないか。

議 事 の 経 過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
スポーツ 推進課	<p>そうである。</p>
秋元委員	<p>市民体育館の収支で平成30年度の人件費に予算額が2,790万円であり、決算額が3,880万円と大きく増えている。最後の収支は黒字であるが、この要因について説明いただきたい。また、平成30年度の予算額がそのまま平成31年度も予算になっているが、問題ないか。</p>
スポーツ 推進課	<p>確認する。</p>
井上委員	<p>市民体育館の利用状況がB評価だが、利用の実績は昨年から見ると、第1体育館は若干伸びている。稼働状況もよくなってきていて、それより前の平成27年、平成28年から比べると減少傾向なのだが、B評価は妥当なのか。一方、東市民体育館がS評価だが、違いは何か。</p>
スポーツ 推進課	<p>再度検討する。</p>
富山委員	<p>アンケートについて、今後の課題が非常に多く、要望が大規模なものであるということもあるが、利用者の減少が、老朽化に起因するようなことであれば、根本的な対策が必要かもしれない。例えば、洋式トイレが少なすぎるということを経験しているが、他と比べて数は十分だが、利用者がそれを感じているだけなのか。</p>
スポーツ 推進課	<p>特にグラウンド等、外の施設については、和式が多いので、洋式化の計画を立てている。体育館についても、古い体育館は全て洋式化になっていないため、計画を立てていくように考えていきたい。</p>
富山委員	<p>今後の課題と書いてしまうと、できないと言っている気がするので、計画中等、書き方を検討いただきたい。</p>
坂西委員	<p>市民体育館で、利用者数が第1体育館を見ると増えているが、目標が非常に大きな数字となっており、市民体育館と東市民体育館と比べても平成30年度の目標が、前の年と比べると大きな数字になっているが、その理由はなにか。</p>
スポーツ 推進課	<p>自主事業を頑張って増やしていこうという気持ちが指定管理にある。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
坂西委員	何か理由があつて目標が達成できなかったとすると、それは目標が大きすぎたか、又は、何か目標に至るまでの道筋に問題があつたか、どちらかだと思つるので、B評価がついている以上、その要因も考えていただき、今後の改善につなげていただきたい。
スポーツ 推進課	第1体育室はバスケットボールやバレーボールの大会ができる部屋であり、それぞれの競技の連盟が大会を予定していたが、災害の関係で中止になったり、参加者が少しずつ減ってきているという要因もある。こちらについても、そのような形で再度検討する。
河井委員長	災害の要因ということを、これを見ていてB評価にするのはいかがか。そのようなことも踏まえて再検討いただきたい。
スポーツ 推進課	承知した。
河井委員長	<u>各プール施設について</u> 続いて、「各プール施設」の評価結果について、説明をお願いします。
スポーツ 推進課	<評価結果について説明>
河井委員長	地震の関係で中条市民プールが全く営業できなかったが、西河原市民プールは一部営業したのか。
スポーツ 推進課	6月18日から10月10日までは屋内も屋外も営業できなく、10月10日から屋内のみ営業できた。
河井委員長	発災までと、10月からは屋内のみ営業しており、ジムもしている。屋外は全く営業していないということか。
スポーツ 推進課	そうである。
富山委員	五十鈴市民プールで、平成30年度実績が4万4,000人で、平成31年度目標がそれよりも低い、前年度実績より目標が下がるのは、いかがなものか。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
スポーツ 推進課	中条市民プールが地震で全く稼働しなかったため、五十鈴市民プールでの利用者が増えたと分析しているためである。
井上委員	利用者が増えた理由がその場合、利用状況の評価がS評価は正しいのか。流れただけなのであれば、S評価ではないという気がした。どちらかというところ、全体評価の中に、利用者が増えたが事故件数を増加させることなく、安全に運営することができたと指定管理者が書いており、そちらのほうで評価になるのではないか。
スポーツ 推進課	再検討する。
富山委員	アンケート結果で、施設での過ごしやすさ等の満足度が非常に低い結果になっている。これは何か理由があるのか。また、アンケートの内容が評価につながっていないか。
スポーツ 推進課	評価のところはアンケートの中身を反映したところはない。やや満足が目立つのは、施設が古いからであると考えます。
井上委員	アンケートで、他施設の評価でA評価にしているものと比べると、満足の評価が少なすぎる。スポーツ推進課だけで見ると、A評価かもしれないが、トータルで見たときに整合性がとれているのか。
スポーツ 推進課	再度、検討する。
富山委員	運営状況についての施設管理運営状況のところの中でも、アンケート結果からもサービス水準の向上の評価を得ることができていると書かれているが、満足度があまり低いと、整合性がとれないのではないか。
スポーツ 推進課	確認する。
河井委員長	これまでの指摘を踏まえると、利用状況の判断について、地震の影響で増えた分でS評価というのは、管理運営状況できちんと対応したということであれば、管理運営状況で評価することにしておくと、次の年度の目標値が通年ベースに戻していても問題ないように思える。 満足度の評価については、再度検討すること。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
スポーツ 推進課	承知した。
河井委員長	<p>市民体育館、中条市民プール、五十鈴市民プール、西河原市民プールの選 定方法について</p> <p>続いて、「市民体育館、中条市民プール、五十鈴市民プール、西河原市民 プール」の選定方法について、説明をお願いします。</p> <p><選定方法について説明></p>
山下委員	選定基準について、事務局へ質問する。経営状況、財務規模で、委員過 半数で失格というのは、管理運営を行う能力が失格なのか、応募自体が失 格になるのか、どちらか。
事務局	応募自体が失格となる。
井上委員	失格の条件は過半数でいいのか。よくあるのは、1人でも基準に満たな い場合は失格にするということもある。
事務局	失格というかなり重い状況になるため、1人の判断となると厳しいので はないかという考えで過半数としている。
井上委員	今回は施設ごとの募集なのか、それとも全部まとめた募集なのか。
スポーツ 推進課	市民体育館、3プールの計4施設をまとめて募集する。
井上委員	前回は施設ごとの募集であるが、今回まとめるのはなぜか。
スポーツ 推進課	前回は、西河原市民プールが単体で、市民体育館と中条、五十鈴市民プ ールについては、3施設をまとめて募集していた。今回は西河原市民プ ールと3施設をまとめて募集する。まとめる理由については、以前、西河原 市民プール、市民体育館、中条、五十鈴市民プールを明治スポーツプラザ が指定管理をしていたときに、この3プールを合同して、ポイ ント制でプールを利用した回数に合わせて、別のプールが1回無料で利用 できるというサービスがあったが、指定管理者が分かれたときにできなく なったということもあり、今回は3プールの指定管理者と市民体育館の指 定管理者を合わせる方向とした。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
上田委員	<p>また、管理運営を一括して行うことによって、教室や指導者、監視員等、人員配置も柔軟に対応できるということもあり、まとめさせていただいた。</p> <p>昨年、市民体育館と中条市民プールと五十鈴市民プールの指定期間を1年間延長させていただくということで、議会を通過している。そのときに、延長する理由として、三つのプールに共通して受けられるサービスが受けられなくなったところを一つの理由にしているため、今回の募集にあたっては、そこは必ず何か三つのプールで共通のサービスが受けられる仕組みを入れるということを募集要項に盛り込んでおくこと。</p> <p>また、そのときの理由として、三つのプールで共通のサービスが受けられるという理由と、三つのプールの管理運営を一括化するというので、施設の維持管理の点において、スケールメリットがあると理由付けをしていたので、そこもしっかりと見られるような提案を出してもらえるように、募集要項を書いておく必要がある。その辺りを検討してほしい。</p>
河井委員長	<p>スケールメリットは当然出てくるので、共通化による市民サービスの向上のために、1年延長した。当然募集要項に盛り込んだ上で、この委員会に掛けていただくべきなので、至急、加えてほしい。また了解を取っていただきたい。</p>
秋元委員	<p>仕様書の11ページに、共通のプリペイドカードなどについて記載があるので、そこを踏まえて募集要項にも追加し、フォローすること。</p>
河井委員長	<p>当然、広報を行うので、時間がないと思う。そのような事情で、4施設集約をして、公募をかけるということになっている。要項等については、改めて持ち回りさせていただく。恐れ入るが、そのようにお願いします。</p>
スポーツ推進課	<p>承知した。</p>
河井委員長	<p>駐車場について</p> <p>続いて、「駐車場」の評価結果について、説明をお願いします。</p>
建設管理課	<p><評価結果について説明></p>
山下委員	<p>分析はしっかりとできているのか。台数ベースで見ると、減っているところが17施設、微増が7施設、大きく増えたのはモノレール沢良宜と阪大病院前の2施設だけである。全体を押し上げているのは、総持寺の2施</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
河井委員長	<p>設であり、まず総持寺の2施設を除いた段階で収支を見る必要がある。分析にあたっては、金額ベースであれば料金値上がりにより左右されるため、金額ベースではなく、台数ベースで分析をし、過去3年と比べると大きなダウントレンドになると思う。その分析は全然されていない。そのダウントレンドについて、どのような就労人口の変化や年齢の変化なのか、もしくは産業構造の変化なのか、施設の老朽化なのか、その辺を整理されたほうがいい。総持寺の2施設を除いた過去3年分を、台数ベース及び収支ベースで分析をし、客観的に見る必要がある。</p> <p>各箇所を、もう一度分析をして、評価の書きぶりを検討するというところでお願いします。</p> <p>それから、大きな駅周辺で何カ月待ち、何年待ちというところが生じている一方、周辺部では減ってきているということかと思うので、その辺りも含めて分析すること。</p>
建設管理課	承知した。
河井委員長	<p><u>駐車場の選定方法について</u></p> <p>続いて、「駐車場」の選定方法について、説明をお願いします。</p>
建設管理課	<選定方法について説明>
河井委員長	<p>今までのように最低限度額を出すか、出さないかというところがある。市として、機器の更新を含めた経費を差し引いて、数字的にどれぐらいが最低限度額だというラインはあるのか。</p>
建設管理課	標準的な更新時期を決めており、出すことはできる。
河井委員長	その最低限度額を募集要項段階で明示するべきかどうか。例えば、明示しないとすれば、非公表の最低限度額を審査基準として、それを下回っていたらそこで失格となるということか。
建設管理課	前回の募集のときは、明示して、それを下回る場合は失格としている。
河井委員長	明示していたらいいが、明示しておらず応募してくる場合は、市としてどう判断するのか。例えば、全員が最低限度額より下回っていた場合はどうするのか。

議 事 の 経 過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
建設管理課	<p>今回は、市が思っている最低限度額より下回って出してこられたものを失格にする。</p>
河井委員長	<p>事務局としては、そのような方針については何か案があるのか。担当課は、最低限度額を出したくない。出したくない場合、審査はどうすればいいのか。</p>
事務局	<p>その場合だと、募集要項の中で、非公表で最低金額を設け、それ以下であれば失格という形で、しっかりと明記しなければいけない。</p>
秋元委員	<p>仕様内でしっかりと、5年間の更新計画を示さなければ、業者もどのような形を出すかということが分からない。この5年間で、機器の更新時期を明示し、その上で納付金を見積もってもらわないと、かなりぶれてしまう。</p>
建設管理課	<p>指定管理者の自主性というところを重視していきたいと思っている。現状、しっかりした更新計画というものが確立できていないので、そこはいろいろな時代の中で、サービス提供がされているという中で、指定管理者から引き出していきたいという思いを持っている。</p>
中田委員	<p>市のほうでは、この5年計画という更新計画を持っているが、次の候補者が、初年度に一気に全て替えるということも一つの案であるし、市民ニーズの方では、現金ではなく、ICカードを利用できるような提案も、一気にされたほうがいいと思う。その辺りも含め、いろいろなことを考えていただけたらと思うので、実際、最低を出すのか出さないのかというのは本当に悩んでいるところで、出してしまうと、その計画どおりにいっていくような形になる。</p>
河井委員長	<p>申し訳ないが少し保留させていただき、後日別途調整する。 その他の、指定管理期間を6年であったのが、再リース等の関係性で、通常の年数を5年にする。この点はよろしいか。</p>
委員全員	<p>(異議なし)</p>
河井委員長	<p>最低限度額をどうするかという点は保留として、公募という形で5年間の指定管理期間で進めさせていただくというところで、よろしくお願いをしたい。 事務局、何かあるか。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	これまでのご指摘を踏まえて、別途調整させていただく。以上である。